

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価（ 月 日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○柔軟で多様な学びのシステムを活かした教育活動を推進する。 ○学ぶ大切さと、学ぶ楽しさを経験させる。	①課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用を目指す。 ②課程間で連携しながら、1人1台端末の利活用を促進し、学ぶ大切さと、学ぶ楽しさを経験させる授業を研究する。	①課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用について検討する。 ②課程を超えて、端末の利活用方法について研究・報告を行い、情報共有を行うことでよりよい授業づくりを目指す。	①課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用ができたか。 ②各課程の授業研究の取り組みを共有し、授業改善に取り組むことができたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	○誰もが自分らしく過ごせる安全・安心な学習環境を実現する。 ○生徒の主体的な活動を充実させ、協働する力と自己肯定感を養う。	①安全・安心な学校生活を目指すと同時に、教育相談と支援体制の充実を図る。 ②命を大切にする意識を高める。 ③学校行事等を通して、他者と協働する姿勢や社会性を育み、生徒一人ひとりの自己肯定感を養う。	①各年次での生徒情報共有を定期的に行い、学校生活支援チームと連携して、トラブルの未然防止に努める。 ②他者を尊重し、歩み寄ることでお互いの理解を深める機会を作る。 ③生徒会役員や各種委員会の委員が中心となって各行事を企画・運営し、生徒一人ひとりの主体的な活動を実現する。	①年次で共有した生徒情報に対して、年次とチームが共有して適切に対処することができたか。 ②お互いを知る場面や、同じ価値観を共有するような機会を設けることができたか。 ③各行事等に、生徒会役員や委員会の委員が中心となって企画や運営に積極的に関わることができたか。また、その結果、生徒一人ひとりが主体的な活動を実現できたか。					
3	進路指導・支援	○高校生活の意義を明確化し、キャリアを適切に形成していくための支援を行う。	①三課程共同で複雑化する進路指導における課題の発見と集約、課題解決方法を策定する。	①多様な課題を抱える生徒に対応するため、各課程間での情報共有や、課程横断的な進路指導をする。	①就労準備支援事業所や若者サポートステーション、職業訓練校など、各施設の情報を職員に共有することができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		○複雑化する進路選択に対応しうる相談体制を構築し、進路希望を実現する。	②早期における自己の将来設計を通して、生徒一人一人が日々の学習や活動に意欲的に取り組めるよう支援する。	②インターンシップや校外学習、卒業生講話ガイダンスなどを通じて、職業観や勤労観を涵養し、生徒の希望進路の見通しを持たせる。	②テーマ研究や校外学習の授業を通して、生徒の職業観や勤労観を養うことができたか。					
4	地域等との協働	○社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域と連携した教育活動を推進する。 ○学校の魅力・特色の校外への情報発信を推進する。	①地域貢献活動を推進し、地域への情報発信を行うとともに、地域との相互理解を深める。 ②定時制の魅力や特色を効果的に発信する。	①クリーンウォーク等の地域貢献活動を通して、地域と連携するとともに、地域へ学校の教育活動を発信する。 ②ホームページや学校紹介動画を更新し、説明会を充実させることで、魅力の発信に努める。	①クリーンウォーク等、地域連携活動を実施し、地域に学校の教育活動を発信できたか、またその活動により地域と連携できたか。 ②情報発信を効果的に行い、本校の特色・魅力を十分に発信できたか。					
5	学校管理 学校運営	○生徒が安全・安心に学校生活を送れるように教育環境を整備する。 ○教員の働き方改革をさらに進め、教育活動の充実につなげる。	①防災に関するマニュアルの点検・見直しを行って、地域と協働した防災活動を推進する。 ②学校のミッションを踏まえつつ、働きやすさと働きがいの両立をめざす。	①防災及び危機管理マニュアルの策定及び見直しを図るとともに、厚木市・近隣自治会と連携・協議して地域防災活動を推進する。 ②衛生委員会等の活動の機会を通し、職場環境の整理及び改善に努める。 ③③衛生委員会の定期的な活動と、職場環境改善シートを活用し、働きやすい職場環境づくりを推進する。	①防災及び危機管理マニュアルの策定及び見直しは進んだか。地域や自治会との地域防災活動との連携は進んだか。 ②職員の働きやすさが向上し、業務を効率的に遂行する一助となったか。 ③衛生委員会の定期的な活動と、業務改善要望シートが効果的に活用され、職場環境が改善されたか。					